

目標達成計画

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 1 | 理念の作成については、開設時に職員全員で話し合いを行った。理念に基づいた援助をするように心がけているが、定期的に確認する機会を設けていない。 | 職員みんなで入所者の皆さんがより良く生活できるようにと作成した理念であり、定期的に確認しながら、更に良い援助に結びつけるように努力する。 | 月1回開催している職員会議にて、定期的に確認し、援助に反映できるようにしていく。すでに、翌月の会議より実行している。 | 0ヶ月 |
| 2 | 10 | 入所者や家族の方のご意見は、施設にいられたときに都度確認をし、援助に反映するようにしている。また、家族の方との自由な意見交換もできており、コミュニケーションもとれており、特に必要ないと考えていた。意見箱設置が義務付けられていたことを知らなかった。 | コミュニケーションも取れていると思っているが、家族によっては、直接言えない事もあるかもしれないということを踏まえ、意見箱の設置を早急に行っていく。 | 玄関の下駄箱の上に、意見箱を設置し、家族のみならず、訪問された方々からのご意見をサービス提供に反映させられるようにしていく。管理者が、毎日確認する。(訪問調査翌日に設置した) | 0ヶ月 |
| 3 | 34 | 緊急時のマニュアルを作成し、対応していたが、救命訓練は行っていなかった。いざという時のために訓練を定期的に行う必要がある。 | 職員みんなが、いざという時に慌てず救命活動ができるように、訓練を実施していく。 | 12月の職員会議の場で、講習会を行ったが、定期的に訓練を実施し、いざという時のために備えたい。また、年1回は、救急救命隊の方からの講習を実施していきたい。 | 0ヶ月 |
| 4 | 35 | 災害時の備蓄については、必要量などを、本社と協議しながら徐々に備えていたが、水についてのみどういう形が良いのか、纏まらずにいた。 | 災害時のための備蓄は昨今の地震などの天災が頻発している中で、早急に準備する。 | ペットボトルでの水の確保を行った。定期的に消費期限を確認し、入れ替えを行っていく。 | 0ヶ月 |
| 5 | 33 | 当施設には医療用設備もなく、嘱託医とも協議を行い、看取りまでは行わないということで開設した。また、利用者も元気な方が多く、現在のところ看取りの指針は立てていない。 | 入所者の年齢に合わせた援助を考え、重度化した場合の指針を確立していく。 | 嘱託医とも相談し、高齢化や重度化に向けた援助の方法を十分に検討し、将来的には看取りまでできる施設にしていきたい。 | 6ヶ月 |